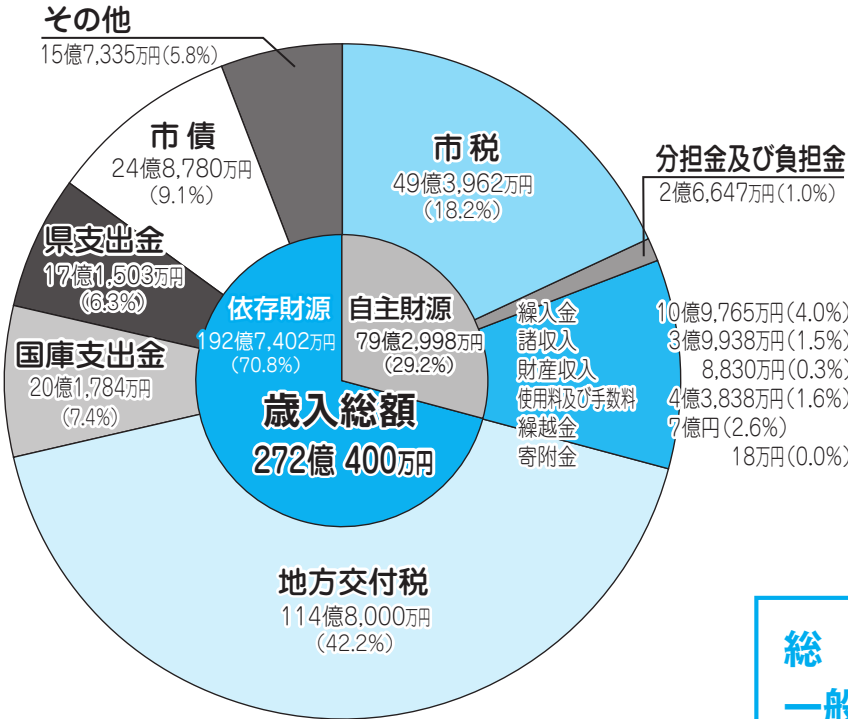


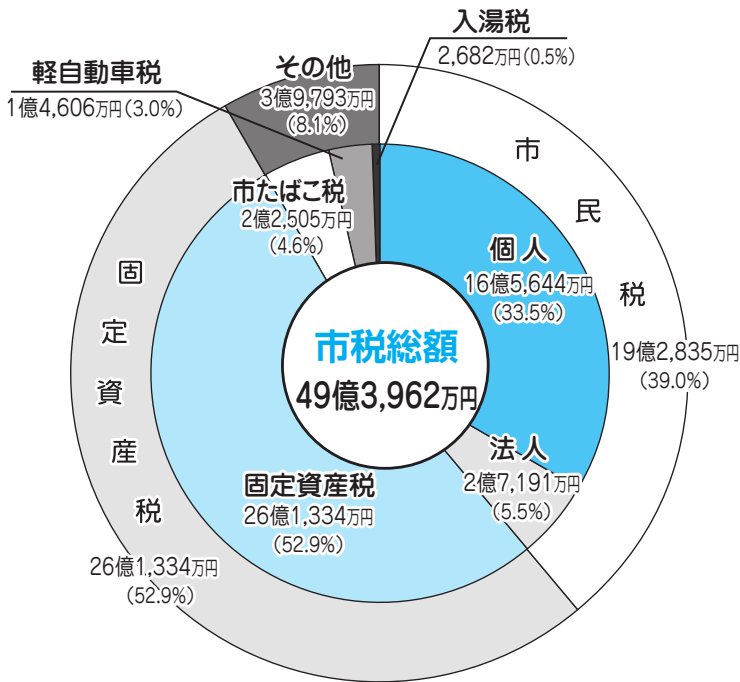
一般会計 歳入の内訳



特集 令和2年度 当初予算

総額	502億8,713万円
一般会計	272億400万円
特別会計	118億592万円
企業会計	112億7,721万円

市税の内訳



予算編成7つの柱

- **産業・雇用**
地域資源を活かして産業を育てるまち
- **環境・防災・社会基盤**
美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち
- **健康・福祉**
支えあい助け合う安心のまち
- **教育・文化・人づくり**
香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち
- **自治・まちづくり**
市民と行政が協働でつくるまち
- **地域振興**
個性あふれる地域づくりを推進するまち
- **行財政運営**
健全な行財政運営を実行するまち

郡上市の令和2年度予算の総額は、約503億円であり、そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスをを行う一般会計は、約272億円で令和元年度の当初予算に比べ、3.0%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は49億3,962万円(前年度比1.1%増)、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)や過年公共土木施設災害復旧費負担金の減などにより20億1,784万円(同1.7%減)、地方交付税は、普通交付税において幼児教育・保育の無償化や会計年度任用職員制度の導入などにより114億8,000万円(同1.9%増)を見込んでいます。市債は、前年度並みの24億8,780万円(同0.7%減)となっています。

また、令和元年度までに主要な公共施設の整備が完了したことから、公共施設整備基金からの繰り入れを8億5,000万円、財源不足を補うための財政調整基金からの繰り入れを6億1,300万円それぞれ減額したことなどにより、繰入金金は10億9,765万円(同54.6%減)と大幅に減少しました。

市税収入などの自主財源は、

《用語解説》

市税…市民のみなさんから納めていただく市税や固定資産税など

繰越金…前年度から繰り越されたお金

繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

分担金及び負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など

市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などに財源として交付されるお金

人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

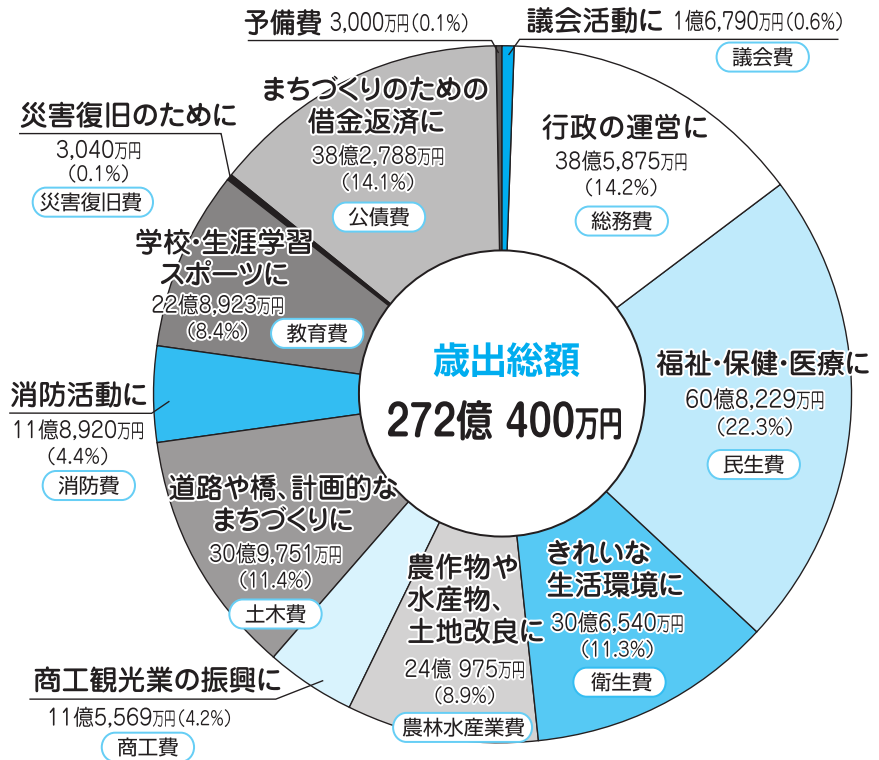
扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

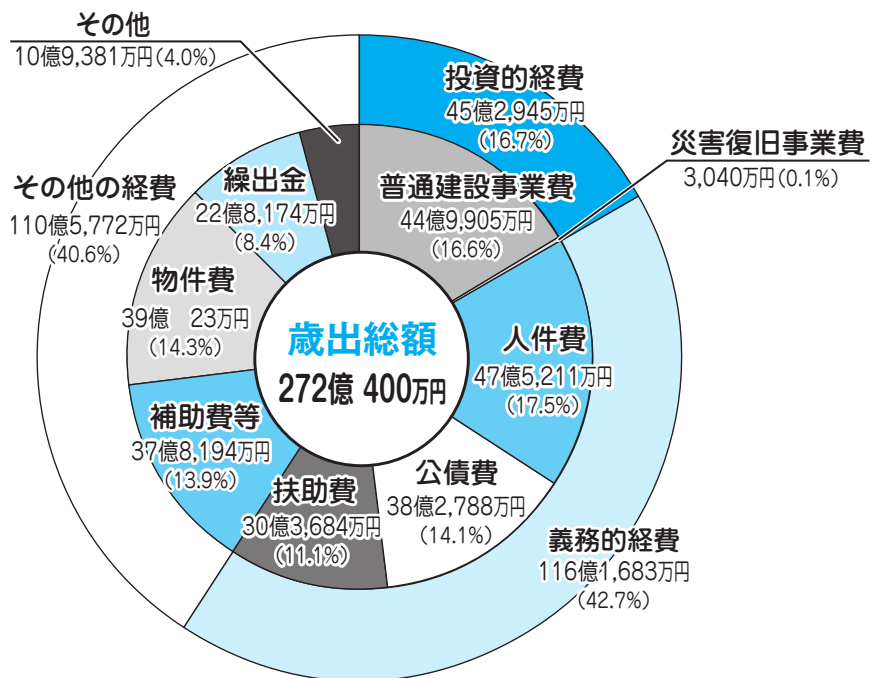
物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用

繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



79億2,998万円]で全体の29.2%となっており、地方交付税や国、県支出金などの依存財源の占める割合が高くなっています。歳出については、少子化対策や、高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が60億8,229万円(同0.3%増)、庁舎等整備事業(太陽光パネル・蓄電設備の設置)、防災行政無線整備事業などの実施により、総務費が38億5,875万円(同7.1%増)と、高い割合を占めています。また、道路整備など市民生活に密接する土木費は30億9,751万円(同6.4%減)となっています。その他、まちづくりの借金返済にあたる公債費は38億2,788万円(同6.0%減)と、歳出全体の14.1%となっています。性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費(同2.3%増)は42.7%と高い割合を占め、普通建設事業などの投資的経費(同16.1%減)は、16.7%と減少しています。今後も大変厳しい財政状況が続くと思われませんが、公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化に取り組みながらも、安心して暮らすことができる活力ある郡上市づくりを引き続き進めていきます。

(収入) (支出) (ストック)

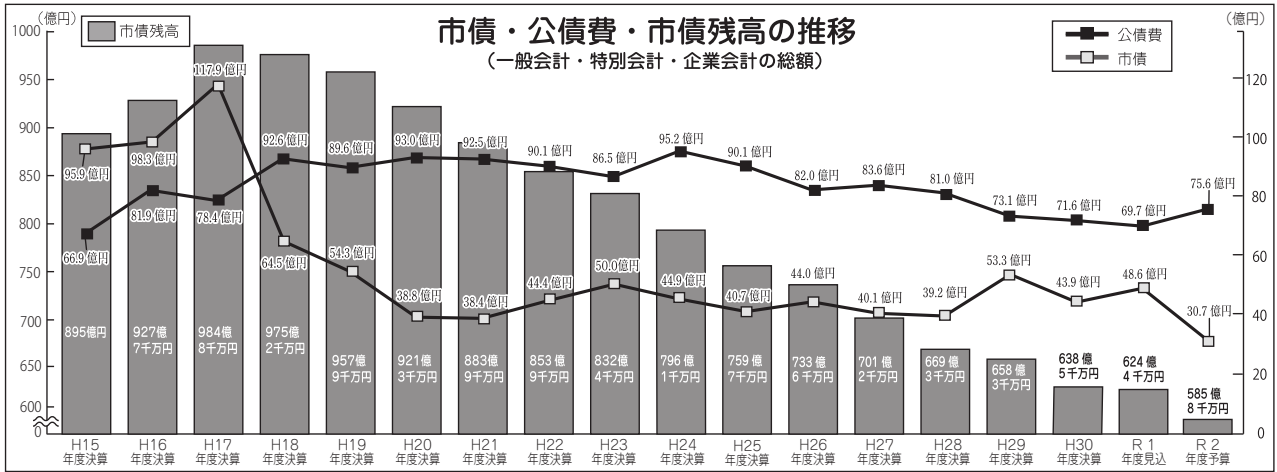
全会計における市債・公債費・市債残高の推移

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借り入れ金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から令和2年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の95億9千万円から比較すると、今年度の当初予算では1/3以下の30億7千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も計画的な借り入れによる財政運営を継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成29年度は平成28年度からの繰越事業や郡上市北部斎苑、郡上市産業プラザなどの大規模事業により増加しています。）

▼市債残高（借入金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込は585億8千万円となりますので、15年間でピーク時の40.5%を減額しました。今後も借入残高を減らす努力を継続します。

▼公債費（返済金）の推移…繰上償還を平成24年度に約10億円、平成25年度には約8億円、平成26年度は約3億円行ったため公債費が多くなっていますが、実質的には平成20年度の93億円がピークで、今年度の当初予算では75億6千万円となっています。平成27年度、平成28年度にも約6億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込です。



一般会計 単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
市債	70.8	68.6	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	28.4	28.9	28.8	23.5	45.3	33.2	38.1	24.9
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.6	55.5	57.0	53.8	45.0	42.6	40.5	38.3
元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.9	50.5	52.6	50.2	42.2	40.3	38.7	36.6
利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	5.7	5.0	4.3	3.6	2.8	2.3	1.8	1.7
市債残高	509.4	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	408.4	386.8	362.9	336.2	339.4	332.3	331.7	320.0

特別会計 単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.7	5.7	6.9	9.7	9.6	14.2	10.9	14.8	7.1	7.9	8.1	0.1
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	19.9	19.9	20.4	21.3	15.9	16.1	9.0
元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9	12.7	13.1	8.9
利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5	3.2	3.0	0.1
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.9	292.9	283.3	275.9	269.5	269.1	265.2	264.4	254.6	174.3	169.3	4.0

企業会計 単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
市債	0.0	11.1	44.6	3.9	0.5	0.3	0.2	0.0	0.8	1.1	2.6	0.9	0.4	0.9	0.9	2.8	2.4	5.7
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.1	6.6	6.7	6.8	6.8	13.1	13.1	28.3
元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8	4.3	4.8	5.1	5.2	5.3	10.7	10.9	23.8
利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4	2.2	4.5
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.1	97.5	95.3	92.6	89.2	86.2	83.4	81.8	77.7	73.1	68.7	64.4	131.9	123.4	261.8

合計 単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
市債	95.9	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	40.7	44.0	40.1	39.2	53.3	43.9	48.6	30.7
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.1	82.0	83.6	81.0	73.1	71.6	69.7	75.6
元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.0	77.0	69.9	72.6	71.1	64.3	63.7	62.7	69.3
利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	13.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.9	7.0	6.3
市債残高	895.0	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	759.7	733.6	701.2	669.3	658.3	638.5	624.4	585.8

※市債、公債費、市債残高の平成30年度以前は決算の数値です。 ※平成30年度以降の市債残高は会計統合後の残高となります。（ケーブルテレビ事業特別会計は一般会計へ統合、簡易水道事業特別会計は水道事業会計へ統合）
 ※数値は端数調整により、合計額と合わない場合があります。 ※令和2年度は、下水道事業が特別会計から企業会計へ移行後の残高となります。
 ※令和元年度、2年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

令和2年度

当 初 予 算

全会計一覧

会 計		令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減率 (%)	予算の内容	
一 般 会 計		272億 400万円	280億4,200万円	▲3.0	基礎的な行政サービスに	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	45億1,731万円	47億3,631万円	▲4.6	国民健康保険の運営に	
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	3億7,722万円	4億5,106万円	▲16.4	高鷲・和良診療所、和良歯科診療所などの運営に	
	下水道事業特別会計	0円	25億 895万円	皆減	下水処理や下水道工事に	
	介護保険特別会計	44億1,488万円	43億8,449万円	0.7	介護保険の運営に	
	介護サービス事業特別会計	7億4,726万円	7億 248万円	6.4	郡上偕楽園特別養護施設の運営と白鳥病院などで行う介護サービスの運営に	
	駐車場事業特別会計	692万円	767万円	▲9.7	市営駐車場の管理運営に	
	宅地開発特別会計	755万円	760万円	▲0.6	分譲地の販売及び経費に	
	青少年育英奨学資金貸付特別会計	3,046万円	3,623万円	▲15.9	就学の支援に	
	鉄道経営対策事業基金特別会計	70万円	88万円	▲20.4	長良川鉄道の経営安定などに	
	後期高齢者医療特別会計	6億4,864万円	6億 87万円	8.0	高齢者の医療に	
	小水力発電事業特別会計	5,453万円	3,262万円	67.1	小水力発電施設の管理運営に	
	工業団地事業特別会計	8億6,000万円	2億1,470万円	300.6	工業団地の造成に	
	大和財産区特別会計	2,200万円	1,400万円	57.1	財産区有林の育成に	
	白鳥財産区特別会計	900万円	849万円	6.1	財産区有林の育成に	
	牛道財産区特別会計	1,724万円	1,394万円	23.7	財産区有林の育成に	
	石徹白財産区特別会計	2,897万円	3,401万円	▲14.8	財産区有林の育成に	
	高鷲財産区特別会計	3,285万円	4,191万円	▲21.6	財産区有林の育成に	
	下川財産区特別会計	333万円	538万円	▲38.1	財産区有林の育成に	
明宝財産区特別会計	1,850万円	1,900万円	▲2.6	財産区有林の育成に		
和良財産区特別会計	856万円	1,529万円	▲44.0	財産区有林の育成に		
特別会計 計		118億 592万円	138億3,586万円	▲14.7		
企 業 会 計	水道事業会計	(収益)	12億3,242万円	12億5,066万円	▲1.5	上水道の供給や上水道工事に
		(資本)	8億7,712万円	8億8,201万円	▲0.6	
	下水道事業会計	(収益)	26億1,839万円	0円	皆増	下水処理や下水道工事に
		(資本)	14億2,444万円	0円	皆増	
	病院事業会計	(収益)	45億9,426万円	44億7,143万円	2.7	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本)	5億3,058万円	6億3,677万円	▲16.7	
企業会計 計		112億7,721万円	72億4,087万円	55.7		
総 額		502億8,713万円	491億1,873万円	2.4		

※各会計の合計額、増減率は四捨五入により合わない場合があります。

※令和2年度より下水道事業特別会計は下水道事業会計（企業会計）へ移行しました。

※表中の「皆増」は令和元年度予算額が0円であることを示し、「皆減」は令和2年度予算額が0円であることを示します。

◆◆ 令和2年度「がんばるしごと」 ◆◆

郡上市景観百景プロジェクト事業…………… 170万円
 都市計画事業…………… 3,174万円

② 循環型社会の実現を図ります

環境保全推進事業…………… 261万円
 庁舎等整備事業…………… 1億4,840万円
 ごみ減量化対策事業…………… 60万円
 郡上クリーンセンター大規模修繕事業
 ……………… 1億4,046万円
 環境衛生センター大規模修繕事業…………… 6,483万円

③ 暮らしの中の安全・安心を守ります

ブロック塀等撤去費補助事業…………… 400万円
 防災行政無線整備事業…………… 1億2,381万円
 生活安全対策事業…………… 1,184万円
 交通安全対策経費…………… 776万円
 ライフライン保全対策事業…………… 3,881万円

④ 効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります

公共施設等適正管理推進事業…………… 2億1,700万円
 社会資本整備総合交付金事業…………… 3億 900万円

【道路・橋りょう整備】

八幡：神谷・棚井線 他2路線
 大和：上剣・中万場線
 白鳥：干田野線 他4路線
 高鷲：高鷲牧場1号線 他2路線
 明宝：大坂本線 他2路線
 和良：方須・乙原線 他1路線

地方交通線車両整備事業…………… 2,571万円
 地方交通対策経費…………… 2億 827万円
 ケーブルテレビ伝送路等更新事業…………… 7億円
 ケーブルテレビ整備事業…………… 4,371万円

健康・福祉

《支えあい助け合う安心のまち》

① 結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します

子育て世代包括支援センター事業…………… 428万円
 ふれあい交流事業…………… 527万円
 産後ケア事業…………… 34万円
 乳幼児医療費助成事業…………… 5,206万円
 小中学生医療費助成事業…………… 7,262万円
 高校生等医療費助成事業…………… 1,129万円
 がんばれ子育て応援事業…………… 3,540万円
 放課後児童健全育成事業…………… 4,358万円

② 心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します

健康づくりプロジェクト事業…………… 90万円
 予防接種事業…………… 9,592万円
 がん検診…………… 7,285万円

産業・雇用

《地域資源を活かして産業を育てるまち》

① 豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を育てます

農産物等流通ネットワーク構築事業…………… 370万円
 産地生産基盤パワーアップ事業…………… 2,431万円
 畜産担い手総合整備事業…………… 6,403万円
 農林水産物ブランド化向上事業…………… 160万円
 世界農業遺産推進事業…………… 569万円
 農業次世代人材投資事業…………… 1,200万円

② 豊富な森林の保全と活用を図ります

生活保全林整備事業…………… 1,000万円
 森林経営管理事業…………… 6,568万円
 林業技術者育成・確保事業…………… 1,629万円
 森林・林業普及啓発事業…………… 253万円
 森林整備推進林道整備事業…………… 4,520万円
 風倒木等林内処理事業…………… 1,000万円
 森林整備推進作業路整備事業…………… 1,300万円
 郡上市産材住宅建設等支援事業…………… 2,050万円

③ ひと・もの・情報の集まる商工業を育てます

産業支援センター活動経費…………… 1,609万円
 八幡市街地空き家利活用推進事業…………… 1,157万円
 新商品開発支援事業…………… 136万円
 商工会活動事業…………… 4,856万円

④ 地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります

郡上カンパニープロジェクト推進事業
 ……………… 7,413万円
 「観光立市郡上」推進事業…………… 7,067万円
 「日本一のおどりのまち郡上」推進事業
 ……………… 4,066万円
 郡上八幡城誘客促進事業…………… 306万円
 外国人観光客誘致事業…………… 675万円
 観光振興対策事業…………… 1,227万円

⑤ 雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を目指します

郡上の未来を創る人材育成プロジェクト事業
 ……………… 796万円
 雇用対策推進事業…………… 2,721万円
 企業誘致関連整備事業…………… 6,325万円
 空き店舗等活用事業…………… 1,465万円

環境・防災・社会基盤

《美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち》

① 自然環境を守り、快適な住環境の実現を図ります

清流条例推進事業…………… 124万円

④ 生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます

地域ICTクラブ普及事業	117万円
公民館活動経費	4,742万円
生涯学習振興事業	802万円
図書館子ども読書活動推進事業	117万円

⑤ 郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します

郡上学推進事業	243万円
郡上市史編纂・資料保存活用事業	325万円
夢づくり教育事業（小・中学校）	2,333万円

自治・まちづくり

《市民と行政が協働でつくるまち》

① 市民主体のまちづくりを支援します

地域おこし協力隊派遣事業	3,850万円
過疎地域自立促進事業	695万円
住民自治推進事業	1,546万円
郡上八幡 町屋敷越前屋活用事業	1,749万円

② 誰もが尊重される地域社会を形成します

男女共同参画推進事業	97万円
人権啓発活動事業	267万円

③ 交流・連携によるまちづくりを推進します

大都市ネットワーク構築・関係人口創出事業	954万円
交流・移住推進事業	2,249万円

行財政運営

《健全な行財政運営を実行するまち》

① 市民にとって開かれた身近な市役所を目指します

広報活動経費	982万円
マスコットキャラクター啓発事業	42万円

② 成果を重視する効率的かつ効果的な行財政運営を図ります

ふるさと寄附啓発事業	4,592万円
公共施設マネジメント推進事業	144万円
総合計画策定事業	285万円



③ 生きがいを持ち、安心できる暮らしの実現を目指します

認知症対策事業	5万円
介護老人福祉施設等整備補助金	4,870万円
ねんりんピック開催事業	1,526万円
在宅高齢者等介護慰労事業	1,750万円

④ 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します

災害時避難行動要支援者支援事業	30万円
在宅障害者交通費助成事業	283万円
重度心身障害者介護者慰労金助成事業	294万円
重度心身障害者医療費助成事業	2億6,205万円

教育・文化・人づくり

《香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち》

① 確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てます

高校生通学費助成事業	1,311万円
学力向上事業	

【小学校】

読書活動の充実（図書購入・図書館整備）	2,059万円
プログラミング推進	295万円
ICT活用	4,475万円
指導法改善	27万円
幼保小連携	8万円
通級・適応指導員配置	506万円

【中学校】

読書活動の充実（図書購入・図書館整備）	283万円
ICT活用	1,896万円
指導法改善	23万円
英語指導助手招へい	2,637万円
小学校・中学校校舎等整備事業	3,856万円
心の教育推進事業	

【小学校】

道徳教育推進	6万円
不登校対策充実	874万円
不登校対策リーダー育成	56万円

【中学校】

不登校対策充実	1,713万円
---------	---------

② 市民が地域文化に触れる機会を広げます

民俗文化財調査事業	203万円
歌のまちづくり事業	604万円
篠脇城跡・東氏館跡活用事業	564万円
白山文化普及事業	299万円

③ 生涯スポーツ活動を推進します

2020スポーツツーリズム推進事業	4,290万円
スポーツ強化種目育成事業	320万円